YCだより

YC（読売新聞販売店）より耳寄りな情報をお届けします。
県内のスポーツ情報も随時掲載致します。

東京ドーム周辺の自動販売機など限られた場所でしか販売されていない
「ちょっとプレミアム」な缶コーヒーをご賞味あれ！！

ジャイアンツカフェは読売巨人軍公認の飲料です

ジャイアンツカフェ ブラック・無糖
申込番号 939051
厳選したコーヒー豆をバランスよくブレンドし特別抽出しています。第一次抽出は高温で抽出しビター感を出し、第二次抽出は低温で行い雑味を押さえクリアな味わいを表現しています。
●容量：185ｇ(1缶)●原材料名：コーヒー(国内製造)●日本製
賞味期限：2024年11月4日

ジャイアンツカフェ 微糖
申込番号 939052
酸味とコクを中心とした味わいのコーヒー豆を使用することで、コーヒー本来の風味と香りを出し、濃縮乳と全粉乳でコーヒー感を邪魔しない、コクのある飲みやすい微糖コーヒーに仕上げました。
●容量：190ｇ(1缶)●原材料名：コーヒー(国内製造)、砂糖、濃縮乳、全粉乳、デキストリン／乳化剤、甘味料(アセスルファムK)●日本製
賞味期限：2024年11月4日

各1ケース30本入り 4,200円(税込) +送料(税込)660円

企画番号 5878 受付締切 2024年8月22日(木) 商品配送 9月上旬より順次
支払方法 ①商品お届けの際に代金と引き換え（代引手数料無料）②クレジットカード（翌月一括払い、リボ払い、分割払い）※ご本人名義に限ります。※一部、提携カードで受け入れできないものもございます。
1ケースにつき 配送料(税込)660円 宅配便
読売通販ねっぱ ご注文・お問い合わせは通話無料のフリーダイヤルで
0120-860-432
株式会社読売情報開発 リテール課 〒102-8618 東京都千代田区平河町2-13-3
受付時間：AM9:00～PM8:00（土・日・祝日もお受けします）※ご注文の際は企画番号・申込番号をオペレーターにお申し付けください。
お客様のご都合による商品はお受けできませんので予めご了承ください。但し、商品の汚損・破損などについては、商品到着後、直ちにご連絡ください。返送料当社負担で新しい商品とお取り替えいたします。
●返品・交換は商品到着から8日以内にご連絡ください。●ご注文をいただいた方（以下「お客様」）のお名前、ご住所、電話番号、申込内容等の個人情報は、株式会社読売情報開発（以下「当社」）とお客様の地域を担当する読売センター（YC）が共同で利用し、商品のお届けのほか、お客様からのご連絡やお問い合わせへの対応、販売促進キャンペーンのご案内の送付、配送・集金業務の遂行、各種サービス・イベントのお知らせ、ご購読の勧め、ご購読の延長、新聞以外の取扱商品のご案内、YC及び読売グループが協力・提携する企業の商品・サービスのご案内、宅配業務に利用させていただく場合があります。なお、お客様の個人情報は、当社とYCが責任をもって管理します。個人情報の取り扱い、読売グループでの共同利用については、https://info.yomiuri.co.jp/privacypolicy/kyoudouriyou.html をご確認ください。

1勝4敗のライバルに主導権渡さず

粘りのプレーで快勝 吉野 県王者

全日本ジュニアバドミントン大会ジュニア新人の部（中学2年生以下）県予選が7月26日、くまがやドームで行われた。男子決勝では吉野統矢（春日部武里中2年）が2―0で高橋元太（蓮田南中2年）を下して優勝した。丁寧なショットで相手を揺さぶるなど、粘り強いプレーで快勝した。女子決勝は大澤あづな（蓮田南中2年）が2―1で藤原ほのか（埼玉栄中2年）を振り切って優勝した。

全日本ジュニアバドミントン大会ジュニア新人の部県予選

【男子】
▽決勝
吉野統矢（春日部武里中）2（21―15、21―9）0高橋元太（蓮田南中）

相手を動かしてミス誘い

吉野が会心の笑みを浮かべた。県タイトルは昨年9月の年齢別大会以来。しかも、小学生時から1勝4敗と分が悪かった高橋を決勝で下した。それでも「（高橋は）体力が落ちていて調子が悪そうだった」とスポーツマンらしくライバルを気遣った。

試合では勝負に徹した。「さらに疲れさせるため、相手を動かしてミスを待った」と第1ゲームから粘り強いフットワークで拾いまくった。チャンスと見れば得意のクロスヘアピンやカウンターなどで2―2から、7―4から、ともに5連続得点で主導権を握った。

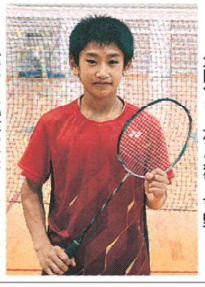
第2ゲームもスタートから7連続得点で飛び出し、7―2から再び7連続得点で引き離した。ストレート勝ちでの頂点に、吉野は「こちらからミスをしないなど、プラン通りのバドミントンができた」と拳（こぶし）を握った。

学校のクラスでは一番前

「学校のクラスでは一番前」と、身長は144㌢。「力がないからむやみにスマッシュを打っても通用しない。粘りと体力で」と小柄な体格を補うためDF面に重点を置いた。チーム練習後に3～5㌔の走り込みも行い、鍛え上げた後敏性と体力がストロングポイントとなった。

粘り強さを武器に頂点に立った吉野

練習後の走り込みで鍛え上げ


全国でも上位を狙う吉野

全国大会（9月20～23日・岩手）には県王者として挑む。「そこまでには守りだけでなく、もう少し攻めも増やしたい」。大舞台で大きく輝くプランも描き始めた。

【女子】
▽決勝
大澤あづな（蓮田南中）2（21―18、21―8）1藤原ほのか（埼玉栄中）

積極プレーで初全国切符

○…女子決勝は大澤が2―1で藤原に競り勝った。「勝てるとは思ってなかったので、挑戦者のつもりで」と積極的なプレーで第1ゲームを先取。第2ゲームは奪われたが「空調で風が変わっていたので、強さと高さを考えた」と頭脳的なショットで最後は21―18で振り切った。初となる全国に向け大澤は「気持ちを強く持って、見たことのない景色を見てみたい」と上位へ力強い口調で話した。

女子Vの大澤

読者の声

さいたま市 M・Yさん（女性）「我が家にもスポーツ少年団（野球、バスケ）の時から運動を頑張る子供達がいますので、同じように日々努力を重ね一生懸命頑張るスポーツ少年少女の記事を時には子供のファイバル目線、時には親目線で楽しく読ませてもらっています。これからもさいたま報知さんには前向きに頑張る選手たちのキラキラ輝く姿を追いかけてもらいたいです」

深谷市 A・Aさん（女性）「息子2人が野球をしていて紙面にとても載せて頂いたこともあり、親近感があります。取材が丁寧なので、読むのが楽しいです」

秩父市 M・Yさん（男性）「いつも楽しみに拝見しています。埼玉県が出身で地方にて活躍している所を読むとこちらも元気を貰います。私もスポーツ少年団ソフトテニスのコーチを勤めさせて頂いていますが指導の難しさなどを痛感しています。このような活躍できる選手や子供たちに少しでもスポーツの楽しさをわかって貰えるようにこの新聞を通して学んでいます」

川口市 T・Mさん（男性）「子供たちが一生懸命戦っている姿に感動します。それぞれの競技、楽しく、でも勝ちたいそんな気持ちで、日々練習に励んでいる子供たちの姿が浮かんできます。試合に負けて悔し涙を流した子、優勝し全国大会へ新たな気持ちで臨む子、みんな頑張れ」

春日部市 I・Aさん（男性）「この紙面で活躍を報じられた少年少女が、何年かして第一線で活躍している記事を目にすることが楽しみです。今回の佐々木選手の記事を読んで、今度は読売新聞で活躍している記事を見たいものです」